



平和への願いを「カウラ」の歌に乗せて

峰町の東部中学校



8月9日、峰町の東部中学校で行なわれた平和集会で、新青い目の人形「カウラ」の歌が披露されました。

これは、昨年5月に「カウラ」が峰町志多賀の光雲寺に贈られたことを機会に、菅野慶全住職が平和学習に役立ててもらおうと歌の制作を呼びかけたことがきっかけで、同校の3年生が歌詞を考え、曲は早田さやかさんがつけました。

平和集会では、62年前に長崎に原爆が投下された午前11時2分に黙祷を捧げた後、平和への願いを込めて全校生徒38名で「カウラ」の歌を合唱。

それを聞いた菅野住職は、「中学生の歌を作る能力に驚き、無限の可能性を感じました。歌は心に響き感動しました。何回も聴きたいです。」と嬉しそうに話していました。同校では来年2番の歌詞の制作に取り組み予定です。

新青い目の人形「カウラ」は、アメリカのシドニー・ルイス・ギューリック3世が、永遠の日米親善と平和を願って日本各地へ贈られているもので、県内では12番目の新青い目の人形です。

生徒会長  
國分博文くん



「歌はうまくできたと思います。この歌が東部中だけでなく、他の学校でも歌ってもらい、平和を発信したいです。」

作曲者  
早田さやかさん



「曲は歌いやすく、憶えやすいように心がけました。」



新青い目の人形「カウラ」と光雲寺の菅野慶全住職

暑さを食べないでください。

釜山事務所だより



海水浴客で混雑する釜山の海水浴場

あつい、あつい、あついです！降り注ぐ日差しがまるで火花のように感じられます。てるてる坊主の代わりに、雨雨坊主というのではないのでしょうか？あれば、私一人でも作りたいです。

皆がいやがっているこの暑さを喜ぶ人がいます。それは24時間営業の大型マーケットと海水浴場にいる商売人。熱帯夜を避けて夜中に人々は涼しい大型マーケットに出かけます。当然売り上げは伸びますね。そしてもう一箇所、海水浴場はこの暑さで連日人々が殺倒して、閉鎖の日にちも繰り下げするそうです。

海雲台海水浴場をはじめとする釜山の海辺には今年4千万人の海水浴客が訪れました。このような暑さではあまり食欲もませんが、皆様、くれぐれも暑さは食べないようにしてくださいね。ウン？暑さを食べる？どうやって？。韓国語で「夏バテしないでください」ということを、「ドウィ モッジマセヨ（直訳：暑さをたべないでください）」とい

对馬釜山事務所 キム 金 キョンイル 京一、シン 辛 ウンギョン 恩京